

# 水泳授業について

水泳授業に際しまして、本校では以下の基準で実施の判断をしております。

## 【入水可否の判断基準】

◎水温22℃以上かつ気温25℃以上 ➡ 水泳授業 可  
(水温と気温の差が3℃以上)

※朝8時と授業開始直前の二度測定をします。

## 【熱中症対策】

- (1) 暑さ指数(WBGT)が 31℃未満であっても、水温 33℃以上の場合は活動を中止する。

『水温が中性水温(33℃～34℃)より高い場合は、水中でじっとしていても体温が上がるため。

〈出典〉平成 30 年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業「学校屋外プールにおける熱中症対策」3.熱中症予防のための留意点』

- (2) 暑さ指数の値に関わらず、状況に応じ、以下の例のような対応を工夫する。  
(例)こまめに休憩をとるとともに、水分等を補給できるようプールサイドに水筒を置く、プールの水温が上がらないよう給水等を行う等